学校番号	3018

令和２年度　芸術　科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	（1）単位	年次	（3）年次
使用教科書	美術３（光村図書）						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術系大学・建築系学科受験希望者に対応した授業です。デッサンを通した形・質感・空間を表現する演習と、美術史を学びながら小論文の対策をしていきます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読みとり味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期中間	デッサン演習	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・鉛筆によるデッサン モチーフの形、質感の表現を追求し制作する。 他の生徒の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り理解を深める。	○ ○	○	○	○	a:創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 b:感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
後期期末	美術史・小論文対策	【絵画・彫刻】【映像メディア表現】【鑑賞】 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○	a:創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 b:感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 d:作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読みとり味わっている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。